

地震・津波対策を中心とした6月議会

沼津市議会 第1回定例会が6月10日（金）～6月29日（水）の会期で開催されました。震災後初めての議会ということもあり、地震・津波対策関連の内容が多く取り上げられました。

沼津市の地震・津波対策はどうなってるの？

先日の震災で私たちが得た教訓は「少しでも早く、少しでも高く逃げること」でした。この教訓を受けて、山などの高台がある地域では避難経路の整備、高台がない地域では津波避難ビルの登録など、今すぐに行えることについて取り組みが進んでいます。

津波危険地区ってどこなの？

阪神・淡路大震災の教訓を受けて策定された第3次被害想定に基づいて、第二・第三・静浦・内浦・西浦・戸田地区が津波危険地区として指定され、計460カ所の津波避難ビル（津波緊急避難協力所）が登録されています。現在、高さや耐震面で本当に避難地として相応しいかどうか、行政と住民が協力して再選定しており、その結果が11月末をめどに公開される予定です。

国・県では、東日本大震災の教訓を受けて3連動（東海、東南海、南海地震）を前提とした第4次被害想定の方針を進めています。1年後に完成と言われている第4次被害想定では、津波危険地区が拡大されることになりそうです。

第4次被害想定の方針を待つまでもなく、各自治会で避難経路や避難場所の検討が進められています。（ある自治会からは、津波避難ビルの交渉状況や自主防災への意識を高める講習会を開きたいと考えている旨のお話を伺いました。現在、微力ながらお手伝いさせて頂いています。）皆さまがお住まいの自治会での状況はいかがでしょうか？ご自身や大切な人の命を守るために、是非調べてみて頂ければと思います。自主防災のあり方について住民同士で語り合い、情報の共有を図り続けることこそ、高い防潮堤を築くこと以上に大切ではないかと思えます。



津波緊急避難協力所表示板

災害対策とエコ活動の組み合わせ

東日本大震災では、「松だけの林は津波によって根こそぎ倒れ逆に凶器ともなった」との報告や、「常緑広葉樹は津波に強かった」という報告がされました。これを受けて、沼津市で千本松原の松を切ることなくその間に広葉樹を植える検討がされています。

これまで松以外の木は切る方針で管理していた地元自治会やボランティアとの合意形成は必要ですが、「工コのまち沼津」を推進する取り組みである「ぬまづの森づくり」と絡めた施策であり、長い目でみて意義ある取り組みになるのではないかと感じています。



沼津の森づくり植樹祭の様子

沼津市の子育て支援は遅れている？

「沼津市は他とくらべて子供の医療費補助の条件が悪すぎるよ。何とかならないの？」…市民の方々からよく伺うお話です。実際のところはどうなのか？一覧表にしてみました。

沼津近隣市町における、こども医療費助成の「対象」と「自己負担額」

通院費	市町名	未就学児	小学生						中学生	高校生	自己負担額
			1年	2年	3年	4年	5年	6年			
			色指定: 平成 21 年 4 月時点 (白), 平成 23 年 7 月時点 (黒)								
	沼津市										500 円 / 回 (3 回目以降無料)
	三島市										500 円 / 回 (5 回目以降無料)
	裾野市										なし
	函南町										なし
	清水町										500 円 / 回
	長泉町										なし
	御殿場市										500 円 / 回 (5 回目以降無料)
	富士市										500 円 / 回 (5 回目以降無料)

平成 21 年 4 月時点
 平成 23 年 7 月時点

ここ 2 年の内に多くの市町で制度改定が行われました。住む場所によって格差が出ないように、各市町で努力して水準を合わせている様子が見て取れます。

沼津市は、入院費に関しては対象が高校生までなど他市町よりも手厚い助成がされていますが、通院費に関しては見劣りしているのが現状です。

入院費	市町名	未就学児	小学生						中学生	高校生	自己負担額
			1年	2年	3年	4年	5年	6年			
			色指定: 平成 21 年 4 月時点 (白), 平成 23 年 7 月時点 (黒)								
	沼津市										なし
	三島市										500 円 / 日
	裾野市										なし
	函南町										なし
	清水町										500 円 / 日
	長泉町										なし
	御殿場市										なし
	富士市										500 円 / 日 (食事療養費は自己負担)

沼津市も平成 23 年 10 月より制度改定します

「やっぱりひどく遅れているじゃないか」と思った方、どうぞご安心ください。沼津市のこども医療費助成制度も、今年の 10 月より内容を一新することが今年の 2 月議会で決まっています。これにより近隣市町間の格差はほぼなくなったと言えます。

沼津市こども医療費助成制度 改定内容 (平成 23 年 10 月~)

	未就学児	小学生						中学生	高校生	自己負担額
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
		色指定: 平成 21 年 4 月時点 (白), 平成 23 年 7 月時点 (黒)								
通院費										500 円 / 回
入院費										500 円 / 日 (食事療養費は自己負担)

助成対象が大幅に拡大しました。自己負担額の面では後退したとも受け止められますが、受益者負担の考えや財源が有限であることを考えると意義ある改定と考えます。

深田のぼるよりひとこと

先日、議員仲間 3 名で「議会だより自主研究会」を立ち上げました。議会や議員が何を伝えたいだけでなく、読み手である市民の皆さんがどんな情報を欲しているのか、読みたいと思える内容は何かといった視点を忘れずに活動していこうと考えています。本件、またご報告させていただきます。



ご意見・ご要望がありましたら、後援会事務局までご連絡ください。